



株式会社インターネットイニシアティブ 2003年度第 4四半期および2003年度決算説明会

2004年5月14日

注意事項:この資料には、1995年米国民事証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の セーフハーバー」規定に定義する 将来性の見通しに関する記述 (orward-looking statements)」に該当する情報が記載されています。このプレゼンテーション資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づ (IJ経営陣の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確定性が内在しています。IIJの実際の活動または業績は、今後、将来の見通しに関する記述に示されたところと大きく異なる可能性があります。投資家の皆様におかれましては、1934年米国証券取引法 (Securities Exchange Act of 1934)に基づく今後の報告書等においてIIJが行う開示をご参照ください。



ハイライト

2003年度第4四半期決算

- 営業収益 (売上高): 11,617百万円 (前期比20.6%増、前年同期比10.9%減)
- ▶ 営業利益: 350百万円 (前期比48.3%増、前年同期の 446百万円から黒字化)
 - ・システム・インテグレーション (SI)の売上高増加により営業利益の改善が持続。
 - ・2003年度下半期を通じて粗利益率が改善。接続および付加価値サービスの粗利益率は利益率の高い付加価値サービスの売上高増加とバックボーンコストの削減により改善。また、SIの粗利益率も、利益率の高い案件の獲得によって高い水準を維持。
- ▶ 償却前営業利益 (Adjusted EBITDA): 1,358百万円 (前期比11.5%増、前年同期比195.5%増)
- 当期利益:669百万円
 - ・株式売却による特別利益1,572百万円を計上した前期 (1,979百万円)からは減少したが、 前年同期の 9,290百万円からは大幅に改善。



ハイライト

2003年度決算

- ▶ 営業収益 (売上高): 388億円
 - ・景気回復過程での企業のIT投資の遅れの影響を受けたSIおよび機器販売の上半期の 売上高減少が響き、前年度対比11.9%減。
- ▶ 営業損失: 14億円
 - ・インターネットセキュリティやVPN等の利益率の高いSI/付加価値サービスに注力すると共に、バックボーンコストの削減 616百万円)に努めた結果、第3四半期、第4四半期と2期連続で営業黒字を達成したが、上半期の営業損失を埋めるには至らなかった。
 - ・前年度の営業損失17億円からは改善。
- ▶ 当期損失:1億円
 - ・クロスウェイブ コミュニケーションズの持分法損失を含む前年度の当期損失165億円から 大幅に改善。下半期の営業黒字、株式売却、保有株式の含み益等が改善に寄与。

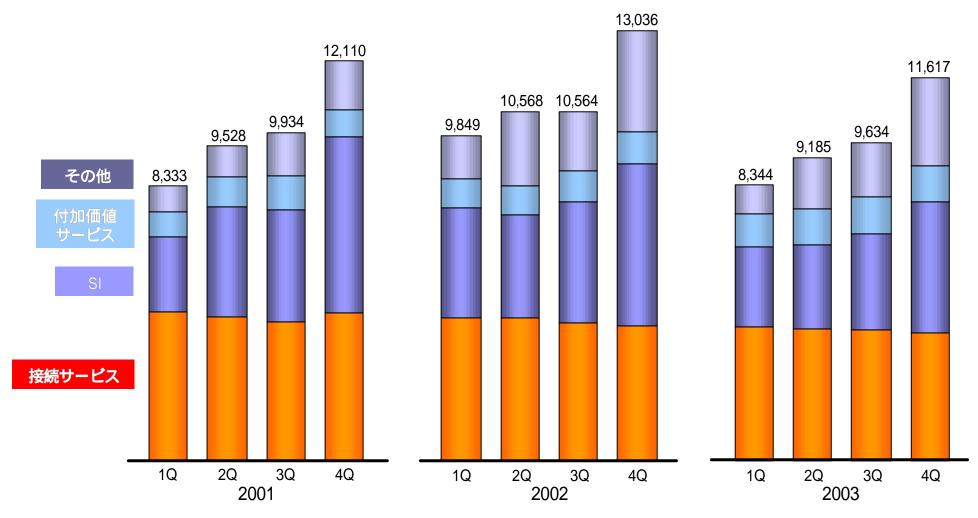
2004年度見通し

- ▶ 2004年度は年度ベースでの営業利益、当期利益双方の黒字化が目標
 - ・クロスウェイブのマイナスの影響は払拭され、今後の継続的な収益力強化の基盤が 固まってきたと考えており、引続き、利益率の高いサービスの開発、販売に注力。



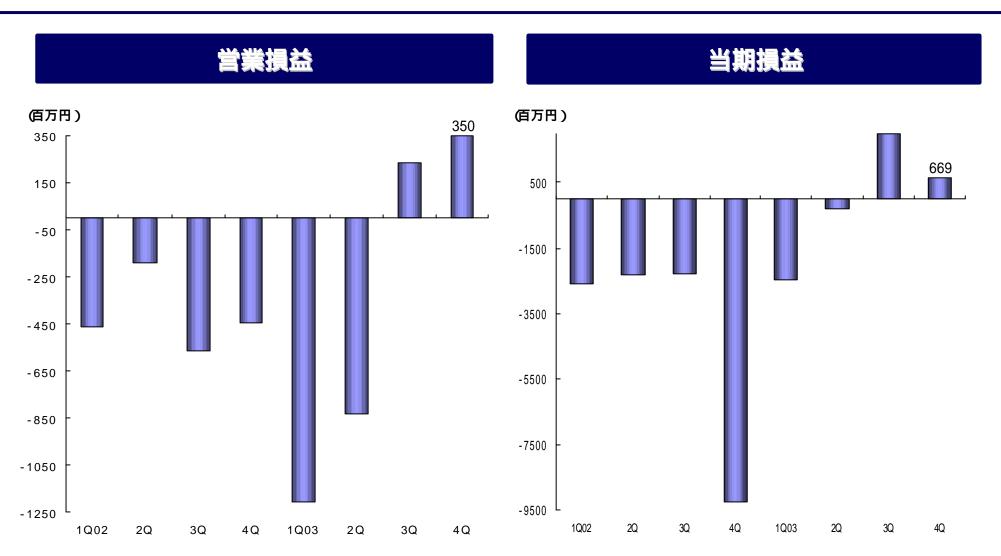
売上高推移

(単位:百万円)





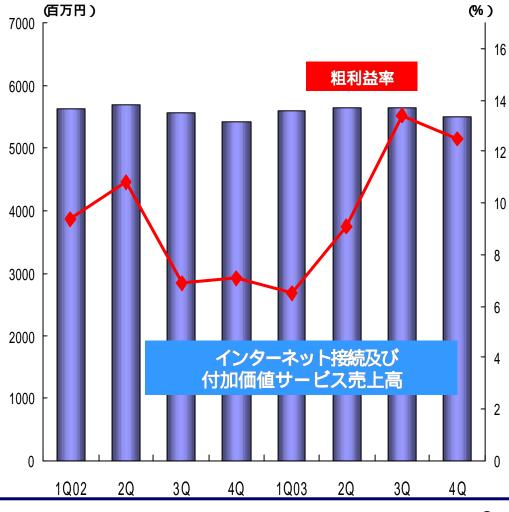
営業損益および当期損益の推移





接続および付加価値サービスの推移

売上高と粗利益率



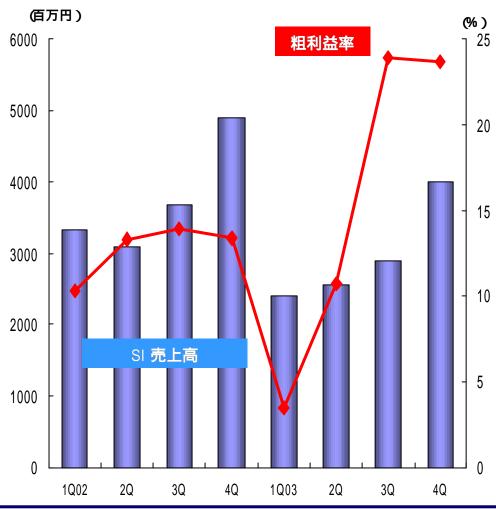
付加価値サービスの伸びとバックボーンコスト削減により粗利益率は高水準を維持

- 売上高は前期比2.4%減となったが、前年同期比では 付加価値サービスの伸びにより1.5%増
- 接続サービスにおいては、ユーザー企業の利用帯域が 増加しており、主力のPサービスの広帯域契約数は 堅調に増加 (Mbps-1.2GbpsのIP接続サービス契約: 前期381 今期427)。また、インターネットVPN案件等 の獲得で、フレッツ系足回りのサービスも大幅増
- ファイアウォール、ウィルスチェック機能付メールサービス等の付加価値サービスは堅調。売上高は前年同期比18.5%増
- バックボーンコストは引続き減少 前期比28百万円減) し 粗利益率は12.5%と引続き高い水準を維持



システム・インテグレーションサービス (SI) の推移





粗利益率は高水準を維持

- 売上高は、前年レベルには達しなかったものの、 企業のIT投資の回復を反映し、着実に改善。 前期比38.5%増
- ネットワーク関連の利益率の高いSI案件の獲得によって、粗利益率は高水準を維持し、営業利益の増加に寄与



2003年度財務実績(四半期、未監查)

7	=	ш	_
(⊢	ΙЛ	Н	
\ <u> </u>			•

		第1四半期	第2四半期	第 3四半期	第4四半期	2003年度
P/L	営業収益	8,344	9,185	9,633	11,617	38,779
	売上原価	7,868	8,337	8,125	9,915	34,245
	販売費	973	1,100	699	756	3,527
	一般管理費	612	482	486	518	2,098
	研究開発費	96	96	87	79	358
	営業利益(損失)	(1,206)	(830)	236	350	(1,450)
	税引前当期利益(損失)	(1,410)	(987)	1,806	124	(468)
	持分法投資利益(損失)	(1,709)	(50)	(58)	(189)	(2,006)
	当期利益(損失)	(2,475)	(278)	1,979	669	(105)
B/S	資産合計	27,587	38,434	38,465	42,737	
	負債合計	37,474	36,040	33,675	35,880	
	資本合計	(10,512)	1,957	4,303	6,214	